

朗読グループ“いずみ”

【団体の概要】

会員数	17名
代表者名	栃内千恵子
主な活動場所	図書館、障がい者施設など



1 団体設立の経緯

昭和52年に市立図書館の朗読講座の受講者でつくったグループです。視覚障がい者への朗読、録音が主な活動でした。加えて、録音図書作成や、市立図書館でのおはなし会なども、活動のひとつになっていきました。作品も増え、市立図書館でおはなし会を年5回開くことが定期的活動に加わりました。

2 団体の具体的な活動内容

- (1) 広報紙の朗読、録音
毎月、広報かぬまを朗読、録音して、視覚障がい者に郵送。
- (2) 対面朗読
障がい者に対し、本人の希望の本を朗読。
- (3) 高齢者・障がい者施設での紙芝居、おはなし会の実施。
- (4) 市立図書館本館および東分館での紙芝居などのおはなし会の実施。

3 団体としての今後の活動予定

今後も視覚障がい者への本の朗読、広報紙の朗読を継続していきます。
また、子どもたちを楽しませることのできる紙芝居や絵本のレパトリーを増やしたりして、幼児・児童の育成を担っていきたいと考えています。